

# 水にまつわる祭り

水不足で苦しむことが多かった奈良盆地には、順調に雨が降って米や作物がたくさんとれることを願う祭りがたくさんあります。



ゆたかな水を求めて、約10メートルのわらの大蛇を引き回す御所市蛇穴・野口神社の「蛇綱引き」



豊作を祈り、子供たちが裸の体にすすをつけあう橿原市地黄の「すすつけ」

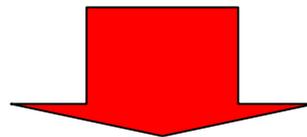
# 余人の勝手は許さず

角倉玄匡(すみのくらはるまさ)により吉野川の水を奈良盆地への導水を計画

寛永10年 事前調査を行っているが中断

その後

下湊村の住民により計画が進められましたが紀州藩の実力により嚴重な意思伝達の拳となりました。



「紀の川に注ぐ水は、たとえ、その1滴たりとも余人の勝手は許さず」

# 吉野川分水事業の再開

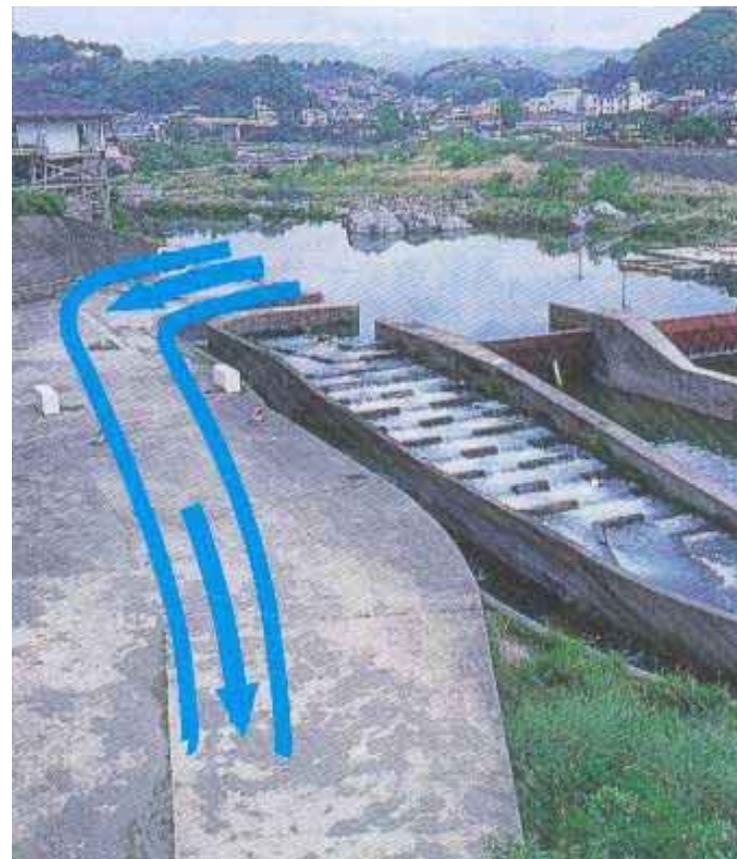
河川総合開発計画として計画を策定

**十津川・紀の川総合開発事業**

(昭和25～58年まで農林省にて実施)



吉野川分水の全体図



下瀧頭首工

# 十津川・紀の川総合開発

## 主要工事

### ア)ダム

ダム名	大迫ダム	津風呂ダム	山田ダム	猿谷ダム
河川名	紀の川	津風呂川	野田原川	十津川
位置	奈良県吉野郡川上村	奈良県吉野郡吉野町	和歌山県那賀郡貴志川町	奈良県吉野郡大塔村
形式	不等厚ドーム型アーチダム	直線重力式コンクリートダム	直線重力式コンクリートダム	直線重力式コンクリートダム
堤高	70.5m	54.3m	34.0m	74.0m
堤長	222.3m	240.0m	140.0m	170.0m
堤体積	158,000m <sup>3</sup>	222,300m <sup>3</sup>	43,000m <sup>3</sup>	174,000m <sup>3</sup>
貯水量	総27,750,000m <sup>3</sup>	総25,650,000m <sup>3</sup>	総3,400,000m <sup>3</sup>	総23,500,000m <sup>3</sup>
	有効26,700,000m <sup>3</sup>	有効24,600,000m <sup>3</sup>	有効3,370,000m <sup>3</sup>	有効17,300,000m <sup>3</sup>
最大取水量	20m <sup>3</sup> /s	11m <sup>3</sup> /s	1.7m <sup>3</sup> /s	16.7m <sup>3</sup> /s
流域面積	直接114.8km <sup>2</sup>	直接38.8km	直接16.4km	直接82.85km <sup>2</sup>
				間接253.22km <sup>2</sup>
発電出力	最大7,400kw			最大33,000kw(第1)
				最大13,100kw(第2)
年間発生電力	19,870,000kwh			230,640,000kwh

# 十津川・紀の川総合開発

## 主要工事

### イ) 頭首工

頭首工名	下湫頭首工	西吉野頭首工	小田頭首工	藤崎頭首工	岩出頭首工	新六ヶ頭首工
河川名	紀の川	大和丹生川	紀の川	紀の川	紀の川	紀の川
位置	奈良県吉野郡大淀町	奈良県五條市	和歌山県伊都郡高野口町	和歌山県那賀郡那賀町	和歌山県那賀郡岩出町	和歌山県和歌山市
形式	全面可動	全面可動	部分可動	部分可動	全面可動	全面可動
堤高	4.55m	2.05m	2.80m	1.50m	2.90m	1.40m
堤長	58.6m	26.7m	221.4m	212.0m	258.2m	365.8m
堤体積	5,000m <sup>3</sup>	-----	17,000m <sup>3</sup>	14,000m <sup>3</sup>	20,000m <sup>3</sup>	10,000m <sup>3</sup>
取水量	10.98m <sup>3</sup> /s	5.81m <sup>3</sup> /s	7.21m <sup>3</sup> /s	7.55m <sup>3</sup> /s	15.76m <sup>3</sup> /s	2.64m <sup>3</sup> /s